

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年5月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いよいよ明日 道社保協総会 深刻な実態やたたかいを学び合い、
「まともな暮らしを保障させる大運動」を広げましょう！

いよいよ、明日(6月1日)13時30分から、第20回北海道社保協総会です(札幌市教育文化会館)。今回は、自公民・歴代政権などの悪政によって、北海道でも「生きていけない」現実が広がり、今後20兆円以上の国民負担増計画に加え、生活保護基準の引き下げやそれに伴う負担増、社会保障制度改革国民会議も受けて社会保障全面改悪などがすすめられようとしている中行われます。私達は、それぞれの分野でも「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障を拡充せるとりくみを進めてきました。

1カ月後には参議院選挙も行われます。各地域・各分野での深刻な実態やたたかいを学び合い、さらに大きな運動を広げる出発点の場にしましょう。是非たくさんの方の参加で成功させましょう。



生活保護基準引き下げの影響や緊迫する生保改悪について 今週厚生労働省と交渉した道生連の三浦会長が特別報告

先日、大阪市北区で母子餓死事件が見つかりました。28歳のお母さんは、生活保護の相談もしていましたが、利用できませんでした。3歳の息子さんに「もっと良い物を食べさせてあげたかった」とのメモを残していたとも報道されています。今回の生活保護法の改悪案は、今まで以上に申請しづらくする改悪で、餓死・孤立死を増やすこととなります。また、8月からの生活保護基準はほとんど世帯が引き下げられます。今週、厚生労働省と直接交渉(写真)した道生連の三浦会長(全生連副会長)が、生活保護問題とそのたたかう方針について、特別報告します。

9月20日 いっせいに「生活保護基準引き下げについて不服審査」よびかけ人募る

8月1日支給以降の生活保護基準が告示されました。中には、生活扶助費で10%引き下げられる世帯もあります。今でも少ない金額で、切り詰めた生活を余儀なくされています。全国的に不服審査請求を行う予定ですが、北海道では9月20日にいっせいに提出しようよびかけする予定です。

「最賃いつあげる？今でしょ！！」最低賃金の大幅引き上げを

5月28日、道労連などが、最低賃金の大幅な引き上げを求めて、宣伝署名(朝・昼)、行政機関への申し入れ、決起集会を行いました。

中心街で行った署名行動では、休憩中や買い物中の方が足をとめて署名に応じ、「最賃上げて！！」「娘が本当に意味で自立できる社会にしてほしい」「介護職です。労力に見合う賃金を望みます」など、最賃引き上げを望む切実な声が寄せられました。

夜行われた「決起集会」では、黒沢道労連議長が「①最賃と逆転現象を下方修正させないためにも、生活保護の改悪をやめさせること、②低所得者ほど負担が重くなる消費税増税をやめさせること、③当事者を前面にしながら、正規労働者が「わがこと」として最賃闘争に積極的にかかわること」を今年の最賃闘争の焦点とし、大幅に引き上げを求めて決起することを呼びかけました。公務共闘、生協労連、道医労連、札幌ローカルユニオン結などが深刻な労働実態やたたかいについても報告されました。

